

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】令和 4 年 8 月 5 日(2022.8.5)

【公開番号】特開 2021-27371(P2021-27371A)
 【公開日】令和 3 年 2 月 22 日(2021.2.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2021-009
 【出願番号】特願 2019-140623(P2019-140623)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/222(2006.01)

G 0 3 B 17/56(2021.01)

【F I】

H 0 4 N 5/222 1 0 0

G 0 3 B 17/56 C

G 0 3 B 17/56 B

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 7 月 27 日(2022.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

台座と、

前記台座に保持され、前記台座に対して、第 1 軸を中心として回動可能なヘッド部と、
 駆動力により前記第 1 軸を中心として前記ヘッド部を回動可能な第 1 ユニットと、
 光学装置を保持可能であり、前記ヘッド部に固定された保持部を、駆動力により前記第 1
 軸に直交する第 2 軸を中心として回動可能な第 2 ユニットと、

第 1 の把持部と、

前記第 2 軸に対して前記第 1 ユニットの反対側に設けられた第 2 の把持部とを有し、

前記第 1 および第 2 ユニットは、前記第 1 軸と前記第 2 軸とを含む平面に直交するととも
 に、前記第 1 の把持部と前記第 2 の把持部とを結ぶ仮想線を含む平面に対して一方の側
 に配置されていることを特徴とする雲台装置。

【請求項 2】

前記第 1 の把持部と前記第 2 の把持部とは、前記ヘッド部に設けられ、
 前記第 1 の把持部から前記第 2 ユニットまでの距離よりも前記第 1 の把持部から前記第 1
 ユニットまでの距離のほうが短く、かつ、前記第 2 の把持部から前記第 1 ユニットまでの
 距離よりも前記第 2 の把持部から前記第 2 ユニットまでの距離のほうが短いことを特徴と
 する請求項 1 に記載の雲台装置。

【請求項 3】

前記第 1 の把持部は、前記台座に設けられ、

前記第 2 の把持部は、前記ヘッド部に設けられ、

前記第 1 の把持部から前記第 2 ユニットまでの距離よりも前記第 1 の把持部から前記第 1
 ユニットまでの距離のほうが短く、かつ、前記第 2 の把持部から前記第 1 ユニットまでの
 距離よりも前記第 2 の把持部から前記第 2 ユニットまでの距離のほうが短いことを特徴と
 する請求項 1 に記載の雲台装置。

【請求項 4】

前記ヘッド部に設けられた面が平面に向かい合う状態において、前記雲台装置の重心が

10

20

30

40

50

ら前記平面に対する垂線が前記ヘッド部に設けられた面と交わることを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか一項に記載の雲台装置。

【請求項 5】

前記ヘッド部に設けられた面には、足部が設けられていることを特徴とする請求項 4 に記載の雲台装置。

【請求項 6】

前記第 2 ユニットに向かい合う位置に設けられ、前記保持部を回動可能に支持するための支持部を更に備えることを特徴とする請求項 1 乃至 5 の何れか一項に記載の雲台装置。

【請求項 7】

前記第 1 の把持部は、前記第 1 軸に対して前記第 2 ユニットの反対側に設けられていることを特徴とする請求項 1 乃至 6 の何れか一項に記載の雲台装置。 10

【請求項 8】

前記第 2 の把持部は、前記第 1 軸と平行な方向に前記第 2 ユニットの投影した範囲と重なる位置に設けられていることを特徴とする請求項 1 乃至 7 の何れか一項に記載の雲台装置。

【請求項 9】

前記第 1 の把持部は、前記第 2 軸と平行な方向に前記第 1 ユニットの投影した範囲と重なる位置に設けられていることを特徴とする請求項 1 乃至 8 の何れか一項に記載の雲台装置。

【請求項 10】

前記第 1 の把持部と前記第 2 の把持部は、把手であることを特徴とする請求項 1 乃至 9 の何れか一項に記載の雲台装置。 20

【請求項 11】

前記第 1 ユニットと 2 ユニットは前記ヘッド部の内部に配置されていることを特徴とする請求項 1 乃至 10 の何れか一項に記載の雲台装置。

【請求項 12】

光学装置を保持するための保持部と、
請求項 1 乃至 11 の何れか一項に記載の雲台装置とを有することを特徴とする雲台システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の一側面としての雲台装置は、台座と、台座に保持され、台座に対して、第 1 軸を中心として回動可能なヘッド部と、駆動力により第 1 軸を中心としてヘッド部を回動可能な第 1 ユニットと、光学装置を保持可能であり、ヘッド部に固定された保持部を、駆動力により第 1 軸に直交する第 2 軸を中心として回動可能な第 2 ユニットと、第 1 の把持部と、第 2 軸に対して第 1 ユニットの反対側に設けられた第 2 の把持部とを有し、第 1 および第 2 ユニットは、第 1 軸と第 2 軸とを含む平面に直交するとともに、第 1 の把持部と第 2 の把持部とを結ぶ仮想線を含む平面に対して一方の側に配置されていることを特徴とする。 40